

平成24年度
石狩浜海浜植物保護センター活動報告

石狩市市民生活部環境室
石狩浜海浜植物保護センター

目次

事業概要	・ ・ ・ ・ ・ 1
1. 普及活動	・ ・ ・ ・ ・ 1
2. 調査・研究	・ ・ ・ ・ ・ 10
3. 自然観察園の整備	・ ・ ・ ・ ・ 11
4. 環境整備事業	・ ・ ・ ・ ・ 12
5. 来館者数	・ ・ ・ ・ ・ 13
6. 保護・回復対策	・ ・ ・ ・ ・ 14
沿革	・ ・ ・ ・ ・ 16

事業概要

石狩浜海浜植物保護センターは、将来にわたって自然豊かな海辺環境をのこしていくため、石狩浜の植生及び海浜生態系の保全を目指し、海岸利用者や市民への普及啓発、海浜生態系や海岸利用に関する調査研究、植生の保護・回復対策などに、市民、研究機関と協働で取り組んでいます。

1. 普及啓発活動

1. いしかり海の「環」発見事業（続/海辺の風景再発見事業）

平成 24 年度は、生態系を通じた海と海辺のつながりに注目し、石狩湾の生物多様性の撮影及び映像化、海とふれあう自然体験教室等に、表 1-1 のとおり取り組みました。実施にあたっては、石狩市内の社会教育施設や、札幌市、小樽市の自然系啓発施設と共催することで、広域へのアピールを図りました。また、環境保全促進助成事業として、全国モーターボート競走施行者協議会より助成金を受け実施しました。

表 1-1 いしかり海の「環」発見事業実施状況

■石狩湾海の映像普及事業

1. DVD「いのちあふれる石狩湾海の生きものたち」製作

事業実施期間：平成 24 年 5 月 23 日～平成 25 年 2 月 15 日

映像撮影・編集：ゼムハウス（積丹町・ダイビングショップ）

DVD 配布先：市内外近隣図書館、市内外自然史系普及啓発施設等 25 箇所

2. 講座「いのちあふれる石狩湾・海の生きもの講座」

開催日：平成 25 年 2 月 2 日（土）

内 容：3 名の講師による講話とディスカッション

いのちあふれる石狩湾

（ダイビングショップゼムハウス 代表 藤田尚夫）

自然教室を通じた磯の生きもの観察

（旭川大学地域研究所 特別研究員 斎藤和範）

漂着物から見た石狩湾の生きもの

（いしかり砂丘の風資料館 学芸員 志賀健司）

参加者：80 名

3. 展示「いのちあふれる石狩湾・海の生きもの写真展」 P6.表 1-8 参照

■自然観察会「海辺の風景再発見の旅」

6 月 29 日（土） 参加者 46 名

石狩砂丘をバスで巡り、風景や自然の魅力を発見しました。

指導：いしかり砂丘の風資料館、小樽市総合博物館、札幌市博物館活動センター学芸員、石狩浜海浜植物保護センター職員

■いしかり海のふれあい自然体験教室

7月14日(土) 参加者29名(大人17名、子ども12名)

浜益区送毛海岸で、磯の生きもの観察・採集を通じて、海の生物多様性について学びました。

指導：NPO 法人ねおす



6/29.海辺の風景再発見の旅



7/14.いしかり海のふれあい自然体験教室



7/5.石狩湾海中映像撮影

2. いしかり海辺ファンクラブ協働事業

平成 24 年度、石狩市協働事業提案制度に基づき採択された、市民団体いしかり海辺ファンクラブとの協働による「石狩海岸の保全と啓発に関する事業」に表 1-2 のとおり取り組みました。

表 1-2 石狩海岸の保全と啓発に関する事業実施状況

■ワークショップ「石狩浜の魅力と未来を語ろう！」

6月11日（月） 参加者31名

会場：石狩浜海浜植物保護センター・カフェマウニの丘

基調講演：「地元からの『環』づくり～ファンになろう、ファンをふやそう～」

講師：認定 NPO 法人霧多布湿原ナショナルトラスト 理事 三膳時子氏

内容：石狩浜の自然に関する学習と、基調講演を踏まえ、参加者によるワークショップにより、石狩海岸の未来像を描き、課題と展望を共有しました。

■パンフレット「未来に残そう石狩海岸の自然」作成・配布

石狩海岸利用者マナー（カントリーコード）をまとめたパンフレットを作成するとともに、7月22日（日）、8月4日（土）の2日間、いしかり海辺ファンクラブメンバーが、レジャー利用者等に配布しました。



パンフレット



7/27.パンフレット配布

3. 自然教室等

平成 24 年度は、表 1-3 のとおり実施しました。実施にあたっては、社会教育施設や市民団体との共催により、普及啓発事業の効率化を図りました。

表 1-3 平成 24 年度自然観察会等の開催状況

■夏休みミニ自然教室

7月23,24,30,31日（土,日）、8月9,10日（金,土） 参加者 130 名

海浜植物保護センターでクラフト遊び、自然観察園での自然観察。

指導：石狩浜自然案内人

■親子体験講座「テンキ編み」（いしかり砂丘の風資料館主催）

7月29日、8月4日（土） 参加者 13 名

ハマニンニクの採集を通じてその生態を学んだあと、採集した材料を用いて、コースターを編みました。

■自然教室「海辺の草木で染めてみよう」

8月2日（木） 参加者 7 名

ハマナスやハマニンニクでの草木染めと、海辺の植物について学習。

指導：石狩浜自然案内人

■自然教室「ハマナスのジャムづくり」

9月1日（土） 参加者 14 名

ハマナスの実でジャム作りと自然観察を行いました。

指導：石狩浜自然案内人

■自然教室「ススキの人形作り教室」

9月1日（土） 参加者 11 名

ススキの穂でキツネやフクロウなどの動物をつくりました。

指導：石狩浜自然案内人

■石狩浜魅力発見・フットパスツアー（いしかり海辺ファンクラブ主催）

9月8日（土） 参加者 40 名

石狩浜海浜植物保護センターから海岸草原を通り、石狩湾新港、石狩放水路沿いから川の博物館付近まで約 7km を歩きました。

■自然教室「砂で作ろう、砂を学ぼう～砂絵と砂時計作りに挑戦！～」

9月29日（土） 参加者 6 名

ネイチャーゲームによる自然観察と学習、砂や貝がらによる砂絵や砂時計作りに取り組みました。

指導：石狩浜自然案内人



9/1.自然教室「ハマナスのジャムづくり」



9/8.石狩浜魅力発見・フットパスツアー

4. 海辺の自然塾特別編 ウミベオロジー／北の自然史最前線

海浜環境に関する市民ボランティアのための学習会として、専門家と双方向的な情報交換ができる座談会形式の講座を、平成 21 年度より継続的に開催しています。平成 24 年は、北海道自然史研究会「石狩大会」とあわせて、表 1-4 のとおり開催しました。

表 1-4 平成 24 年度海辺の自然塾の開催状況

海辺の自然塾特別編 ウミベオロジー／北の自然史最前線

5月10日(土) 参加者 42 名

発表：石狩浜の花とマルハナバチーセイヨウオオマルハナバチの侵入がもたらす影響ー

(地独) 道総研環境科学研究センター 西川洋子

定期観察による石狩浜の花ごよみ 2011 石狩浜定期観察の会 安田秀子

砂浜のきのこ NPO 法人北方菌類フォーラム 竹橋誠司

石狩海岸に分布するイソコモリグモについて

北海道大学大学院農学研究院 藤原一暢

他 9 件

5. 企画展示

平成 24 年度、海浜植物保護センター展示室で開催した企画展示は表 1-5 のとおりです。

表 1-5 平成 24 年度企画展開催状況

開催期間	タイトル
4月28日～5月28日	海辺の花ごよみ 2011 1年間の石狩浜の花や生きものの写真を展示。 (主催：石狩浜定期観察の会)
6月1日～7月2日	地図と航空写真から見た石狩浜の変遷
7月5日～8月27日	アイヌ語でよむ海浜植物
7月5日～8月27日	海辺の自然で自由工作・調べ学習にチャレンジ
8月30日～9月17日	いしかり海辺ファンクラブ「いしかり海辺の写真部」 写真展
9月20日～10月15日	『俳句のまち・いしかり』第8回俳句コンテスト 受賞作品展
10月18日～11月3日	海辺の草花をタネから育てる (主催：花畔・網(ばんなぐる・ねっと))

6. 幼稚園、小中学校への学習指導

平成 24 年度、センターを利用した学校等は表 1-6 のとおりでした。

なお、小中学校が石狩浜で取り組める自然や環境保全に関する学習プログラムを示した「石狩浜自然ふれあい学習のすすめ」を HP 上で配信しています。

表 1-6 平成 24 年度学校等利用状況

日にち	学校・学年	内容	教員	学生・生徒
6月29日(金)	花川南小 3 年	社会科学習「石狩市の施設の様子を知る」	4	98
7月18日(水)	石狩中 1 年	石狩浜学習プログラム	3	33

8月18日(土)	屯田北中科学部	植生調査体験	1	39
9月6日(木)	双葉小3年	社会見学	4	50
9月19日(水)	石狩中1年	石狩浜学習プログラム	4	33
9月21日(金)	花川北陽幼稚園	命と向き合う活動「自然探索・エコロジー」	5	52
10月5日(金)	花川小3年	石狩浜学習プログラム	3	45

7. 出張講座・講師派遣事業

平成24年度、出張・出前講座及び講師派遣事業は表1-7のとおりです。

表1-7 平成24年度出張講座・講師派遣事業実施状況

■出前講座（主催：石狩セカンドライフ研究会）	
9月3日(月) 18:00～	
会場：石狩市学びの交流センター	
内容：講話「石狩浜の自然と保全」	
全体来場者数：19名	
■科学の祭典 in 石狩 2012（主催：科学の祭典 in 石狩実行委員会）	
9月9日(日) 10:00～15:00	
会場：石狩市こども未来館	
内容：出典「海辺の葉っぱウォッチング」	
全体来場者数：1100名	
■北海道海浜美化をすすめる会勉強会（主催：NPO 法人北海道海浜美化をすすめる会）	
11月17日(土) 14:00～16:00	
会場：札幌市環境プラザ研修室	
内容：石狩浜・海浜植物の魅力と保全活動	
参加者：20名	

8. 出張展示事業

平成24年度は、市内公共施設や市外において、石狩浜の自然を紹介するパネル展示を表1-8のとおり実施しました。

表1-8 平成24年度出張展示実施状況

期間・日にち	会場	テーマ
10月27日～11月1日	紀伊國屋書店 札幌本店	ウミベオグラフィー/石狩海辺博物館 主催：いしかり館ネットワーク 出展物：海の生き物写真、「港」をテーマにした俳句と写真

1月22日～2月14日	札幌エルプラザ 1F 情報広場	いのちあふれる石狩湾 海の生きもの写真展 出展物：石狩湾海中撮影の生きもの写真、石狩の海岸線の種類と生物相、送毛海岸の生物標本
2月20日～3月3日	石狩市民図書館	

9. 施設利用

平成24年度、センター団体利用状況を表1-9に示しました。

表1-9 平成24年度石狩浜海浜植物保護センター団体利用状況

利用日	利用団体	人数
5月5日(土)	石狩翔陽高校生物部	2
5月11日(金)	エコ動物自然専門学校	21
5月13日(日)	石狩翔陽高校生物部	3
5月19日(土)	石狩市民生委員研修	20
6月8日(金)	発寒幼稚園	40
6月9日(土)	能量寺子ども会	50
6月9日(土)	放課後児童館 つくしクラブ	10
6月21日(木)	札幌科学技術専門学校	13
6月22日(金)	発寒幼稚園	40
6月24日(日)	NPO 法人ねおすツアー	7
6月25日(月)	ふくろうの森(当別ディケアサービス)	12
7月4日(水)	藤女子大学	10
7月6日(金)	石狩小学校3年	12
7月11日(水)	大麻幼稚園	80
7月13日(金)	石狩小学校1・2年	30
7月13日(金)	石狩国際交流協会	12
8月3日(金)	ふくろうの森(当別ディケアサービス)	10
8月8日(水)	ばんなぐろ特別養護老人ホーム	8
8月9日(木)	花川北児童館	25
8月13日(月)	発寒幼稚園	11
8月26日(日)	こどもエコクラブ「紅南探検隊」	4
9月1日(土)	ふくろうの森(当別ディケアサービス)	7
9月3日(月)	ディサービス石狩希久の園	7
9月14日(金)	石狩小学校1.2年	23
9月23日(日)	こどもエコクラブ「紅南探検隊」	4
9月26日(水)	ディケアふくろうの森	8
10月4日(木)	石狩小学校1年	13
10月13日(土)	放課後児童館 つくしクラブ	10
10月19日(金)	北海道教育大学	40

11月3日（土）	藤女子大学	2
----------	-------	---

10. ふるさと海辺フォーラム

海浜植物保全活動を全国に広げていくことを目指し、海辺の自然保護活動に取り組む団体と交流を図っています。平成24年度は、表1-10のとおり、10月6,7日（土、日）に、神奈川県茅ヶ崎市で、NPO法人ゆいの主催により開催されました。

表 1-10 平成 24 年度ふるさと海辺フォーラム開催状況

■開催日
10月6日（土）、7日（日）
■会場
茅ヶ崎市「茅ヶ崎 太陽の郷『博修館』」／湘南海岸 海浜植物保全活動地域
■基調講演（1日目）
タイトル：辻堂海岸の植物群落－海浜植物の植生調査
講師：井上弼喜 氏
■参加団体
1. 北海道中標津町「きたねむろ山菜エコランド」
2. 北海道石狩市「石狩浜海浜植物保護センター」
3. 北海道石狩市「いしかり海辺ファンクラブ」
4. 青森県横浜町「よこはまホテル村」
5. 宮城県七ヶ浜町「七ヶ浜ハマボウフウの会」
6. 宮城県名取市「名取ハマボウフウの会」
7. 神奈川県茅ヶ崎市「NPO 法人ゆい」
8. 神奈川県大磯町「NPO 法人大磯町内の松並木敷地を大切にする会」
9. 神奈川県鎌倉市「鎌倉・七里ガ浜 七ヶ浜復興支援隊」
10. 静岡県浜松市「サンクチュアリジャパン」
11. 愛媛県伊予市「県立伊予農業高校」
■参加者数
1日目：約50名
2日目：約20名

11. 執筆・寄稿

平成24度、出版物への投稿は表1-11のとおりです。

表 1-11 平成 24 年度出版物への寄稿・執筆状況

■雑誌「モーリー第28号」誌面『ネイチャーセンター日記』
発行：財団法人北海道新聞野生生物基金
テーマ：石狩浜・海と海辺をめぐる『環』づくり

■北海道新聞紙面「みんなでサイエンス・27」

発行：2012.10.11、北海道新聞

テーマ：北の海辺を飾る花「ハマナス」

12. 刊行物・HP

平成24年度に配布した刊行物等の発行状況は表1-12のとおりでした。

HPは、<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/kaihinsyokubutu/index.htm>で配信し、行事情報、開花情報を中心に更新しました。ホームページアクセス数は表1-12のとおりです。

表1-12 平成24年度刊行物発行状況

刊行物名	内容
通信誌「はまぼうふう」vol.38～41	浜の自然情報やセンターの行事予定などを掲載
石狩浜自然観察ハンドブック	石狩浜の自然について、写真、イラストなどで紹介 (A5版30ページ、300円で販売)
パンフレット 「未来にのこそう石狩海岸の自然」	石狩海岸利用者マナー(カントリーコード)を掲載
パンフレット 「石狩浜海浜植物保護センター」	石狩浜海浜植物保護センターの施設紹介

表1-13 平成24年度石狩浜海浜植物保護センターホームページアクセス数(単位:件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	1,153	1,331	1,289	1,305	1,140	1,109
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	1,060	1,024	1,312	1,707	1,371	1,199
年間計		15,000		月平均		1,250

13. 海浜植物種子の配布

平成24年度、来館者向けに配布した種子の種類と下図は表1-14のとおりでした。

表1-14 海浜植物種子配布状況(単位:袋)

種類	配布袋数	種類	配布袋数
ハマボウフウ	1227	ハマヒルガオ	399
ハマエンドウ	524	エゾカワラナデシコ	1344
ハマハタザオ	804	ノハナショウブ	678

2. 調査・研究

平成 24 年度取り組んだ主要な調査研究（共同・協力含む）は、表 2-1 のとおりでした。また、これまでに発行した調査研究報告は表 2-2 のとおりです。結果については、別途作成の報告書や、紀要等へ掲載していきます。

表 2-1 平成 24 年度調査研究実施状況

■石狩海岸における利用状況モニタリングと植生回復実験 （北海道大学大学院農学研究院園芸緑地学分野 花卉・緑地計画学研究室）
■聚富地区植生概況調査
■砂丘草原植生モニタリング調査
■はまなすの丘海岸線侵食状況の把握
■はまなすの丘植物開花状況調査（石狩浜定期観察の会）

表 2-2 石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告

報告書名	号
石狩浜における植生モニタリング区の設置と 14 年間の植生変化(2002 年度調査)	1 号
石狩川河口湿地部における植生モニタリング区設置と植生概況（2003 年度調査）	2 号
石狩海岸林の植生概要（2004 年度調査）	3 号
石狩浜定期観察による植物開花状況の記録（2004/2005）	4 号
石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録（2006）	5 号
聚富海岸の植生概況（2007 年度調査）	6 号
石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録（2007）	7 号
1989 年以降に記録された石狩浜の植物種リスト	8 号
2008 年から 2010 年の石狩浜定期観察による植物開花状況等の記録	9 号
石狩川河口砂嘴における植生分布の変化	10 号

3. 自然観察園の整備

1. 自然観察園

センターの自然観察園は、展示施設に隣接した約 2,100m²の敷地です。石狩浜に自生する海浜植物を集めると共に、石狩砂丘の植生の帯状構造を再現するように、自然植生を生かしながら移植、播種、及び除草等を行っています。

平成 24 年度は、新たに北側の塀に沿って散策路を整備しました。また、来館者の学習をサポートするために、クイズラリーの看板等を設置し、環境学習の場として積極的な活用を図りました。



図 3-1 自然観察園概況

2. 市内公園での海浜植物栽培

センターでは、市民が身近に石狩浜の海浜植物等に親しめるよう、表 3-1 のとおり、市内の公園で栽培しています。

表 3-1 平成 24 年度市街地公園花壇への海浜植物移植状況

公園名	海浜植物の種類
紅南公園 花川南公園	エゾカワラナデシコ、ノコギリソウ、エゾカワラマツバ、ウンラン、イソスミレ、ハマハタザオ、コガネギク、ハマボウフウ、ナミキソウ、エゾスカシユリ、カセンソウ
紅葉山公園 (イカダ)	ノハナショウブ、タチギボウシ、ナガボノシロワレモコウ、サワギキョウ、エゾミソハギ



紅南公園



紅葉山公園

4. 環境整備事業

石狩浜の自然に親しみやすい環境づくりのため、観察路の維持や外来植物の除去を行いました。

1. 親船名無沼観察路

通称親船名無沼は、平成 17 年度に行った動植物相調査により、多様な水生動植物が生息生育することがわかりました。多くの人が沼の自然に親しめるよう、センターでは平成 18 年より、道路から沼岸まで近づける歩道、観察場を設置し、維持管理を行っています。平成 24 年度も引き続き維持管理を行いました。



図 4-1 通称親船名無沼の位置

2. 石狩浜海浜植物保護センター～弁天歴史公園散策路

石狩浜海浜植物保護センターから弁天歴史公園まで、海浜植物群落やニセアカシア林を通して散策できるよう、毎年散策路の草刈りを行っています。

当該エリアは、当初の海浜植物群落がアキグミやススキ等の増加により消失したため、今後、ハマナス主体とする海浜植生を再生し、活用を図っていく予定です（16 ページ参照）。



図 4-2 海浜植物保護センターから弁天歴史公園までの散策路のルート

3. 外来植物等の除去作業

はまなすの丘の木道周辺は、多くの観光客や散策者が訪れ、石狩川河口の海浜植物群落の景観を楽しむ場所ですが、ニセアカシア、カモガヤなどの外来植物及び内陸性植物のススキが増加し、景観が損なわれつつあります。景観保全のため、木道周辺の外来植物等の除去に取り組んでいます。

平成 24 年度は以下のとおり実施し、企業の社会貢献活動として多くの方の参加があったのが特徴でした。今後も継続していきます。

表 4-1 平成 24 年度外来植物等の除去作業実施状況

日にち	参加者数	参加団体等
4月21日(土)	100名	石狩市緑化推進協議会、石狩ライオンズクラブ、親船高齢者クラブハマナス会、石狩浜定期観察の会、ふるさと自然塾、石狩観光協会、センター運営委員会、石狩観光協会、石狩植物愛好会、NTT 東日本グループ北の自然守り隊ほか
10月20日(土)	124名	

5. 来館者数

平成 24 年度の開館期間中（4 月 2 日～11 月 3 日）の来館者数は、9,051 人でした。月別来館者数は、図 5-1 に示しました。また、平成 12 年度からの来館者数の変化を図 5-2 に示しました。

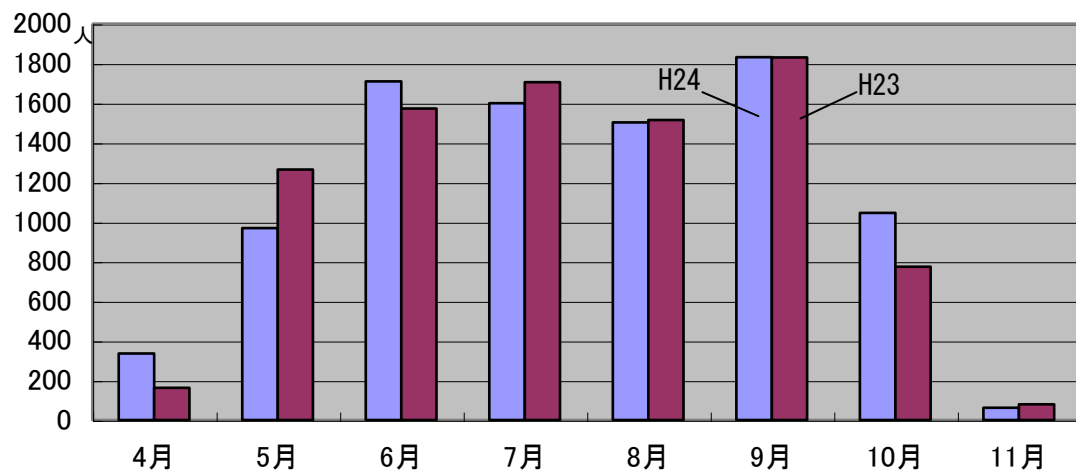


図 5-1 平成 24 年度の来館者数の月変化と前年度との比較

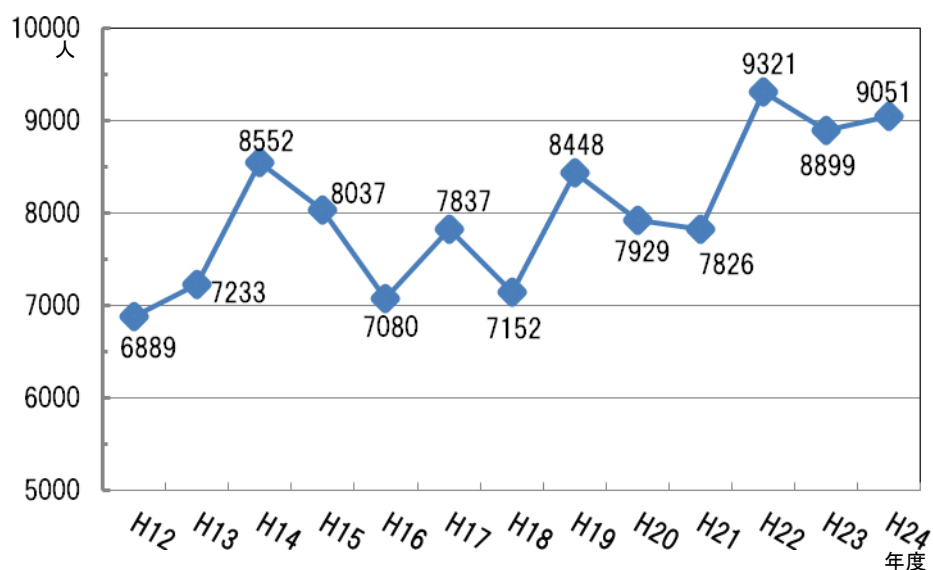


図 5-2 平成 12～24 年度の来館者数の年変化

6. 保護・回復対策

1. 海浜植物等保護地区の監視

平成 24 年度 3 月 1 日、これまでの石狩川河口海浜植物等保護条例改正により、石狩市海浜植物等保護条例が施行し、新たに「聚富地区」を海浜植物等保護地区に指定しました（図 6-1）。これに伴い、平成 24 年度は、従来の海浜植物等保護地区である「河口地区」に加え、「聚富地区」において、4 月から 10 月まで、監視員 2 名により、ハマボウフウなど海浜植物の採取や、バイク等の乗入れ等を防ぐための監視を行いました。

「河口地区」では、春先はハマボウフウの採取者が多く、海水浴シーズンは、キャンプ等で保護区内に進入する利用者が、秋にはハマナスの実を採取する人が増える状況にあり、監視による採取防止効果は大きいと思われます。

「聚富地区」では、シーズンを通じて植物の採集や車両の進入は見られませんでした。

2. 石狩市海浜植物等保護条例の一部改正と海浜植物等保護地区の拡大

石狩浜海水浴場を挟んで東西に約 15ha の範囲は、平成 4 年より石狩市が独自で車乗入れ防止柵を設置し、車走行による植生の破壊を防止してきました。平成 23 年度に行った海岸管理者である北海道との協議に従い、平成 24 年度は、当該地域を石狩市が正式に占用し、石狩市海浜植物等保護条例に基づく「弁天地区」「親船地区」として海浜植物等保護地区指定に向けた手続きを進めました。

これにより、「河口地区」及び「聚富地区」を「生態系保護地区」として生態系の保全を図り、新たに指定した「弁天地区」「親船地区」を「自然ふれあい地区」とし、環境学習等での活用を図るエリアとしました（図 6-1）。

平成 25 年 7 月 1 日より、改正条例が施行されています。



図 6-1 石狩市海浜植物等保護条例で指定する海浜植物等保護地区

2. 親船地区西側のエリア

親船地区西端から石狩湾新港東側（三線浜）にかけての約 2.6km の海岸保全区域には、北海道空知総合振興局札幌建設管理部（旧札幌土木現業所）が、「石狩湾沿岸海岸保全基本計画」（平成 15 年、北海道）に基づき、平成 17 年より車乗り入れ防止柵を設置しています。この地域においては、サンドバギー車やモトクロスバイクの植生上へ

の進入が頻繁に確認され、特に石狩湾新港側から進入していることがわかっています。

海岸管理者は、ロープの補修等侵入防止対策を施していますが、侵入は後を絶たない状況です。

海岸管理者及び石狩市等からなる石狩浜環境保全連絡会議では、新たに指定した「弁天地区」、「親船地区」において、市条例に基づく保護地区指定の効果の検証を行い、効果が見られるようであれば、柵の強化対策に伴い段階的に当該地域へ保護地区を広げていくという方向性で一致しています。

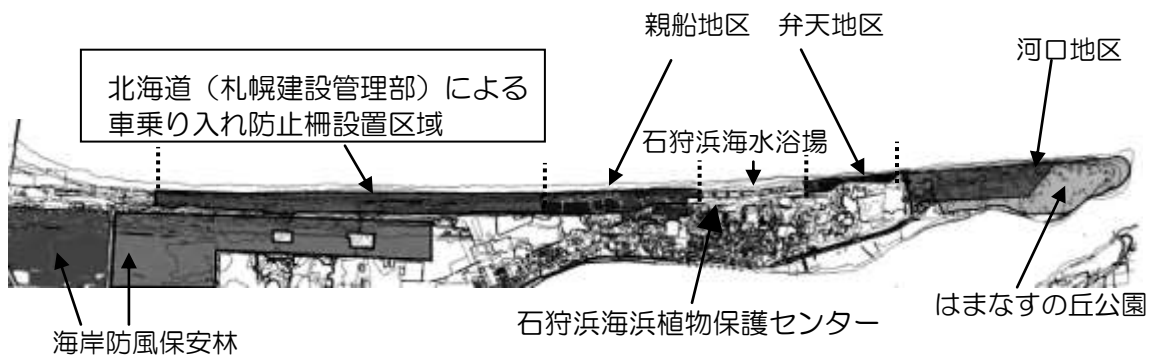


図 6-2 車乗り入れ防止柵設置区域

沿革

石狩浜海浜植物保護センター開設の目的

石狩海岸地域は、北海道自然環境保全指針において「すぐれた自然地域」に指定されるとともに、大都市近郊において、海岸砂丘の生態系を色濃く残す自然海岸として、全国的にも大変貴重な地域となっています。しかし、美しい海浜植物や雄大な海浜景観は、レジャーをはじめとする過度な利用により、次第に失われつつあります。

このような状況において、豊かな海辺の自然を市民共有の財産として保全し、後世へ残して行くためには、市民、行政、研究機関とが協働して普及啓発活動や調査研究活動に取り組むことが不可欠です。石狩浜海浜植物保護センターは、その活動拠点として、平成12年4月に開設されました。

施設概要と業務内容

名 称 石狩浜海浜植物保護センター
所在地 石狩市弁天町48番地1 tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146
規 模 敷地面積；4033.045 m² 建面積；299.36 m² 延床面積；302.05 m²
建物；木造2階建／鉄骨造平屋建 建物高；10,978.7mm

施設は、①海浜植物の保護に係る調査・研究、②石狩浜保全への啓発、を目的としたもので、屋内は、大きく展示室と実験室、屋外は、温室と自然観察園に分かれています。

展示の方針は、来館者に海浜植物をはじめとする石狩浜の自然情報の提供や保全活動状況の紹介、作品展示などを行うことができる、更新性を備えた市民参加型の展示としています。また、展示室は研修機能を備え、フィールドと一体となった研修の場を提供しています。

自然観察園は、石狩浜に生育する海浜植物を一堂に集め、その生態観察の場となっています。

調査研究機能としては、保全に向けた海浜植物の生態研究のために、実験室、および研究対象植物を育成するために温室が備わっています。また、自然観察園の一部も、調査・試験区として利用することができます。

さらに、今後、北東側隣接地約7千平米を、既存施設と一体として、ハマナス中心とした海浜植物の再生と活用の場として整備していく予定です。

以下、保護センターにおける主要業務を示します。

○ 啓発・普及業務

展示施設・自然観察園の整備・更新

施設見学者への対応

講座・観察会等の開催

市民に対する情報提供・機関紙の発行・ホームページの管理・運営

ボランティア・各種団体・研究機関との連絡調整

○ 調査・研究業務

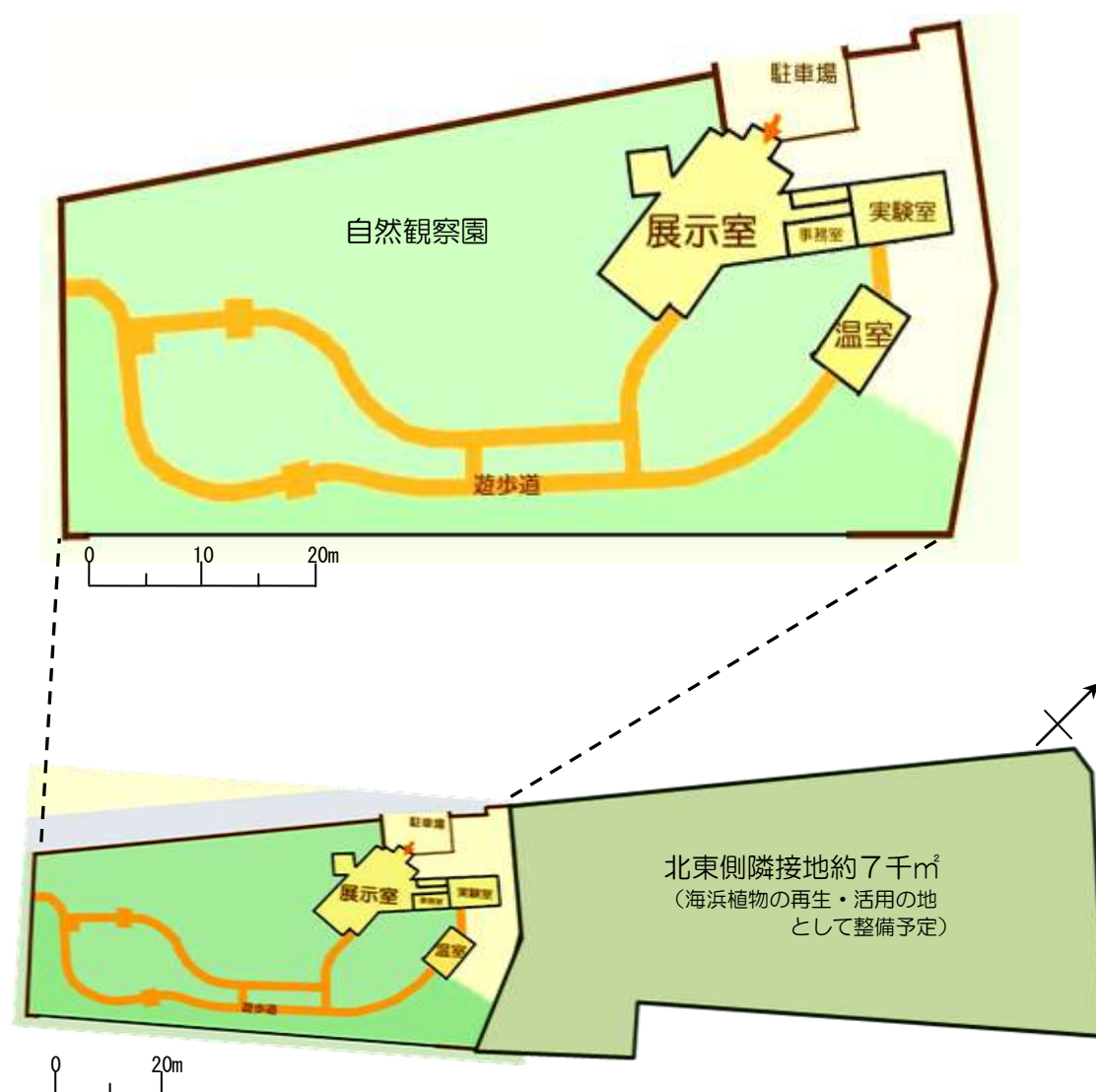
石狩浜の動植物の生息、生育状況に関する調査

海浜植生の保全に係る調査研究と実施

海浜植物の保護・保全計画の立案と実施

ボランティアグループの調査研究活動支援

石狩浜海浜植物保護センター施設略図



石狩浜海浜植物保護センター利用案内

開館期間 4月29日～11月3日
 開館時間 9時～17時
 休館日 火曜日（祝日の場合はその翌日）
 入館料 無料
 駐車場 あり
 交通 北海道中央バス「札幌バスターミナル」発
 「石狩」行き約60分「石狩温泉前」下車
 徒歩5分



平成24年度石狩浜海浜植物保護センター活動報告書

平成25年9月発行

発行 石狩市

編集 市民生活部環境室石狩浜海浜植物保護センター

開館期間中 〒061-3372 石狩市弁天町 48-1

tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146

冬季閉館中 〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目 30-2

tel.0133-72-3240 fax.0133-75-2275

E-mail ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

HP <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/kaihinsyokubutu/index.htm>